

2020年6月17日

東京電力ホールディングス株式会社

第 867 回審査会合における指摘事項

< R / B 地震応答解析に影響を与える要因の確認 >

- (1) 応答結果に影響する不確かさ要因の取扱いについて、設計上の位置づけをより明確にした上で不確かさ要因の重畳に係る設計上の取扱いを整理し説明すること。また、応答結果に影響する不確かさ要因及びその設計上の取扱いの整理については、原子炉建屋を重点的に実施した上で、他の主要建屋（タービン建屋、コントロール建屋、廃棄物処理建屋）へ展開させ説明すること。
- (2) 隣接建屋の影響について、柏崎刈羽原子力発電所が軟岩サイトであるという立地条件、K6/7号炉がツインプラントであるため建屋群が近接しているという設置条件から他サイトに比べて影響が大きいと考えられることから審査会合において評価内容を説明すること。

< R w / B 地震応答解析手法 / 応力解析手法の妥当性確認 >

- (3) 入力地震動と加速度応答スペクトルの関係の 0.1~0.2 秒付近において、基礎部に比べて建屋 2 階部の増幅が大きい理由について、現象を整理し説明すること。
- (4) 廃棄物処理建屋とタービン建屋の衝突について、その影響を説明すること。

以上